

障害者の社会活動参画機会、就労機会の拡大、そして収入向上を実現するために、オフィス向け置き菓子サービスの事業効率を高める計画を立案。ノーコードツールの試行で業務効率化を体感。

一般社団法人障害者自立支援センター

<https://write-up.xyz/>

本社所在地 (事業所所在地)	兵庫県姫路市 (松江市)	資本金	-	事業概要	就労継続支援A型事業所運営、就労継続支援B型事業所運営
代表者名	芦田考正	従業員数	20名		
設立年	2021年	業種	サービス業		

背景

- 当社では、一般企業における福利厚生の充実支援として、オフィス向けの置き菓子サービスを展開しており、置き菓子ボックスの設置個所は増加しつつある。
- オフィス向け置き菓子サービスでは、販売状況の管理は目検と手書きで行っているため、作業負担が大きい上にミスが発生しやすい状況にある。
- さらなる事業拡大のためにはデジタル化による効率化が不可欠だと考えている。
- 本事業では、顧客先の各置き菓子ボックスについて、携帯端末上で商品毎の在庫数、補充数を入力するのみで、売上および粗利の計算と、全体集計が行われるとともに、賞味期限・消費期限が近い商品が存在している場合に注意喚起が行われることを目指した計画を策定したい意向である。

計画の骨子

課題の明確化

- ▶ 現在の置き菓子サービスに関する業務について、ヒアリングを行い、具体的な作業を洗い出し、業務フローを作成した。
- ▶ 業務フローをもとに、職員が困っているところや時間が掛かっているところを抽出し、解決すべき課題の優先順位を付けた。
- ▶ 解決すべき課題について検討した結果、「訪問先での滞在時間を短くすること」に重点的に取り組むこととした。

新業務フローの策定

- ▶ 課題解決策として複数のデジタルツールを比較し、結果としてノーコードツールである『kintone (サイボウズ社)』を試行することとした。
- ▶ kintoneで業務運用した場合の新業務フローを策定した。